

新年のぞいあいさつ

明けましておめでとうございませす。

市民の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えになられたことと存じます。

昨年を振り返りますと、アベノミクスの効果が徐々に現れた年であったかと思えます。2013年1月の平均ドル・円レートは、88・98円であったものが、12月では102円から103円台の推移となり、日経平均株価は大発会での終値1万604円50銭から、11月下旬には1万5727円12銭の年初来高値を付けるなど、景気は上含みで推移しています。

本市においては、人口減少という大きな社会構造の変化や経済環境に対応しつつ、限られた財源の中で市民の皆様が安全、安心に暮らせるまちづくりのため、健全財政を旨として各種施策を推進してまいります。

今年は、地域の活性化に向けて、皆さんの知恵の交換ができる場づくりや、自主的な地域づくりに対する支援など、人づくりに向けた施策を広く展開したいと考えております。地域にはさまざまな経営資源がありますが、根本はリーダーシップを發揮できる「人財」育成だと考えます。どんなに素晴らしい企画を立てても、中心となって実行する人間がいなければ事は成就できません。

また、人づくりに加え、活性化のための環境整備として、市庁舎や市民会館などハード面の整備にあたっては、10年、20年先の長期的展望を持って臨み、その機能などについて意見をお聴きし、ご理解を得て進めてまいります。

北陸新幹線金沢延伸まで、あと1年3カ月となりました。本市の豊富な農産物と、私たちが日々暮らしている、文化・芸術に造詣の深い風土を結び付け、今こそ外に向かって情報発信してまいります。

経済社会環境は今後も変化変容していきます。そうした変化に対応し、北信州には中野市があり、そこは豊かな地域であると、人々から憧れをもって注目されるまにしたいと考えております。

市政をお預かりしてから1年余、この間、多くの皆様と懇談の機会を持つよう努めてまいりました。これからも皆様の声をお聴きし、市民目線で市政にあたってまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことをお祈りし、年頭のごあいさつと致します。

中野市長 池田 茂

～子どもたちが考える理想のまちづくり～

特集

子ども議会

昨年11月26日、市役所議場において「子ども議会」を開催しました。子ども議会は、中野市の将来を担う子どもたちに、市政を身近に感じてもらうとともに、まちづくりに進んで参加する意欲を育てるため開催しています。

本年度は、平野小学校の6年生93人と高丘小学校の6年生37人の計130人が参加し、12人の議員が質問・提案を行いました。



常谷愛 議長(平野小)



石渡雄規 議長(高丘小)



小山実悠人 議長(平野小)



山崎烈緒 議長(平野小)